

# 会報

第16号

2009年2月1日発行

発行：群馬県地域密着型サービス連絡協議会

事務局：〒370-3521 高崎市棟高町 1257-5

NPO 法人じゃんけんぼん事業本部内

TEL 027-387-0180 FAX 027-387-0181

協議会ホームページ <http://www.gunmaken-chiiki.net>

## 新しい年を迎えて

会長 井上謙一



平素より、当協議会運営につきましてご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

今年、まず1月4日に原賢治 事務局長（前会長）が突然ご逝去されたことを皆様にご報告しなければなりません。原氏は、2000年の介護保険制度創設以来、認知症グループホームの発展

に多大なる貢献をされ、その死は、当協議会にとりましても大きな痛手となりました。病床にあっても地域密着型サービス事業者の社会的地位向上を願っておられた氏の遺志を真摯に受け止め、あらためて努力邁進することとを全役員で確認したところであります。

原 賢治 氏のご冥福を心よりお祈りいたします。

昨年12月26日に今年度からの新介護報酬が提示されました。概要については、既に皆様にご配布させていただきました。期待した介護人材確保のための3%改定で職員1人当たり2万円の給与アップは、一部のマスコミマ

程遠い結果になったと言わざるを得ません。認知症グループホーム、小規模多機能ともに基本報酬が据え置かれ、加算のみで対応するということから、それぞれの事業所が介護福祉士等を雇い入れ、研修を充実させ、様々なケースにに応じて加算を申請する努力を強いられています。又、加算の条件については、国の基準が示されたとしても保険者（市町村）の解釈でこれまで以上にローカルルールが広がる懸念があります。根本的に安過ぎる人件費（2008年平均23万2370円/月、グループホーム）に支えられているので、介護職員の人件費と事業所の評価は切り離して、職員給与そのものが公務員並みに「介護報酬」に組み込まれない限り、安定した人材確保は困難になると思われま

す。当協議会としても全国の協議会と連携し国に提言していかねばなりません。我が国の総理大臣は二人とも、その地位を自ら去るといふ現実の中で官僚支配の下、政治が混乱しています。先日、オバマ米国大統領が就任演説の中で「政府が大き過ぎるか小さ過ぎるかではなく、機能するか否か。各家庭が妥当な給与を得られる職や負担できる医療保険、尊厳ある退職生活を送るための資金を手に入れるための支援を政府ができるかどうか。」と語っていますが、全く同感です。今こそ、当協議会の会員ひとりひとりが力を合わせて、認知症の人が尊厳を保ち、安定した生活を送れるよう、そして、介護職員も安心した暮らしができるよう、声をあげていきましょう。

昨年12月

## 第6回管理者研修が伊香保の“ホテル天坊”

において開催されました



型サービスがどのようなようにしてできてきたかを考え、それにより『地域』とは何かを考えるものでした。

「認知症の人の行き場が無い、本人に沿ったケアがない、地域の理解・支援が無く偏見や誤解がある」という大型施設中心の時代にケアの矛盾を感じた方々が、その人らしいケアを実現しようとして小規模ケアが登場し、それにより「認知症の人の行き場ができ、個別ケア・生活を大切にしたケアが行われ、地域の理解・支援が生まれる」といった大きな変化や成果が生まれ個別ケアというものが当たり前になり、さらに個別ケアが進化して、地域社会の中に『その人らしさ』があるという考えから『地域』との繋がりが大切になってくるというお話でした。

○ 施設を開設したい事業者にはマニフェストを作成させ、実行できていない事業所は閉鎖もやぶさかではない、というスタンスで行政がいること。

○ 地域密着型サービスの事業所の開設時に、事業所の意義についての説明や地域住民の説得を行政が行うこともある。

○ 運営推進会議に多種多様な業種の方に参加していただいている。また、行政への要望を出す場になっている。

○ 市内にある空き家を利用して、小規模多機能ホームにできないか市の各課が協力して事業所を募る。など以上のような

平成20年12月2日(火)に群馬県地域密着型サービス連絡協議会の第6回管理者研修が、伊香保のホテル天坊にて、13時半から16時まで開かれました。140名の方が参加され、その内懇親会までの参加が8名、宿泊までされた方が62名と多数の方々がこの管理者研修に参加され有意義な時間を過ごされました。

研修会の基礎講演として、ニッセイ基礎研究所の山梨恵子さんと、横浜市のグループホーム横浜ゆうゆうの管理者、井上義臣さんの2名のパネリストをお招きして「小規模ホームの考える地域との繋がりに」というテーマでお話していただきました。

○ 施設を開設したい事業者にはマニフェストを作成させ、実行できていない事業所は閉鎖もやぶさかではない、というスタンスで行政がいること。

○ 地域密着型サービスの事業所の開設時に、事業所の意義についての説明や地域住民の説得を行政が行うこともある。

内容としては、まず認知症ケアの歴史を振り返り、地域密着

加賀市では次のようなことが行われているということでした。

○ 施設を開設したい事業者にはマニフェストを作成させ、実行できていない事業所は閉鎖もやぶさかではない、というスタンスで行政がいること。

○ 地域密着型サービスの事業所の開設時に、事業所の意義についての説明や地域住民の説得を行政が行うこともある。



味深く参考になるものでした。そこで改めて気づいたことが

あったのですが、群馬県の小規模多機能ホーム・グループホーム大会での事例発表を思い返してみた時に、県内の事業所も地域と独自の繋がりを持っている事業所が多く、連絡協議会の取り組みについても、群馬県の認知症ケアが全国的に高い水準にあるということを実感しました。最後に、井上さんのお考えとして、『出会いが繋がりを、繋がりが発想を、発想が行動に、行動が地域へ、地域との繋がりが新たな出会いへ』というサイクルで、小規模ホームは顔の見える関係性を作って地域と繋がっていくという、分かりやすく「地域との繋がりをイメージし易いお話でした。

今回の研修では全体を通して、地域との繋がりを、関わり方などこれからの施設運営のヒントになるお話が多く、地域との交流がより活発になる事業所が増えることを期待できる内容でした。



**報告者**（中北毛ブロック 長池田・広報ネットワーク 委員 金井）  
今回の管理者研修にあたり、参加された皆様にアンケート調査を実施いたしました。回収率は70%あり、結果をホームページに掲載しておりますので、是非ご覧下さい。結果を元に、より良い研修や連協として、今後の活動の材料として活かしていきたいと思います。皆様、ご協力ありがとうございます。

西部地区にて任意による  
懇親会が開かれました

1月22日（木）19時半より高崎市内の店にて、西部地区中心の任意による懇親会が開かれました。16名の方が参加され、日頃のストレス解消や、情報交換等、有意義な時間を過ごしました。和気あいあいと始まった懇親会も、最後には今回の介護保険改正に関する事や、消防法改正によるスプリンクラーの事、グループホームのあるべき姿・・・白熱した議論がなされ、気がつくとも時間も大分遅くなっております。かなり踏み込んだ話題もあり、普段ではなかなか出来ないものです。参加された方の認知症介護に対する想い・情熱がひしひしと伝わってくるものでした。明日への活力となった事でしょう。

## リーダー研修が 前橋市勤労福祉センターにて開かれました

講師 増田勝之先生



平成21年新しい年を迎え、最初の連絡協議会全体の研修として1月29・30日の2日間、前橋市勤労福祉センターにてリーダー研修が行われました。昨年7月と8月の2回に分けて行われた新任者研修と同様、介護技術や認知症の研修ではなく、リーダーに求められる能力として、コミュニケーション力やマネジメン卜力・問題解決力などを学びました。前回同様、介護現場において直接関係のないものでは決してありません。昨今介護離れが取りざたされている中、賃金の面が、働きやすく現場がスムーズに動いていける職場の環境づくりの一つとして重要なものであります。また、同時に質の向上にも繋がるものでもあります。今回の研修も、新任者研修同様、増田先生に講義いただきました。



**講師 増田勝之先生**

1959年太田市生まれ。明治大学卒業後、法務省入省。同省退職後、人材育成などセミナーの指導運営に携わる。人材育成コンサルタントとして独立。現在、国及び地方自治体、企業のマネジメント、問題解決、コーチングなどに関する研修を指導している。経済産業省登録中小企業診断士。

**研修プログラム**

1日目

1、リーダーの役割とは

(1) 求められる人材とは

(2) 人材育成の必要性

2、コミュニケーション力を磨く

(1) 人材育成の土台は信頼関係

(2) 効果的なコミュニケーションとは

① 信頼関係をつくらう

② コミュニケーションとは

③ コミュニケーション演習

3、仕事の基本は報・連・相

(1) マネジメントサイクル

(2) 指示命令の仕方

(3) 報告の受け方

(4) ロールプレイ演習

2日目

4、明るい職場づくり

(1) 問題意識をもとう

(2) 問題解決力を磨こう

① 問題解決力とは

② 問題解決技法

(3) 問題解決演習

5、指導・運営の方法

(1) 指導・育成の心構え

(2) 指導・育成の2つの方法

6 コーチングスキルを身につける

(1) コーチングとは

① コーチングとは

② コーチングの構造

(2) コーチングの流れを学ぶ

(3) ロールプレイ演習

7、自己啓発のすすめ



研修終了後、皆さんにアンケート調査を実施いたしました。その結果、全員の方が研修の内容は良かった。受講して良かったと回答され、また、職場に戻っても役に立ち、今後もこのリーダー研修を継続していく必要性を皆さん感じておられました。2日間でしたが時間も妥当であり、何より、講師の説明が分かりやすく、演習を交えながら楽しく頭と体で覚えられ良かったようです。眠くなる事もなく飽きずに最後まで参加できたと言うご意見が大半でした。特に良かった講義内容として、指示・命令の出し方、コミュニケーション力、褒め方・叱り方が多かったようです。また、同じ仲間同士で種々の話しや情報交換が出来たのも実りある物だったようです。中には、先生の笑顔がステキ♡人柄が好き♡なんて感想までいただきました。皆さんどうもお疲れ様でした。

**事務局移転のお知らせ**

2月より事務局が下記に移転いたしました。

高崎市棟高町1257-5

NPO 法人じゃんけんぽん事業本部内

TEL 027-387-0180 Fax 027-387-0181

**編集後記**

今年4月より介護保険や消防法が改正され、多少の混乱もあるかと思いますが、主はサービス利用されている方々！忘れないようにしましょう